

令和7年度 第2回 中能登町立鹿西小学校 学校運営協議会 会議録

【日 時】	令和7年9月16日（火）14：40～16：00
【会 場】	中能登町立鹿西小学校 多目的室
【出 席 者】	大森 宏一、笠松 幹生 校長、坂口 一男、四伊 深雪、中島 登、宮田 政雄 (50音順) 学校代表者：西崎 唯一 教頭
【欠 席 者】	泉 知久、宮川 由里子
【事 務 局】	学校教育課：山森担当課長 横山主事 生涯学習課：寺西主査 平岡 山口
【次回予定】	未定

【進行】鹿西小学校：西崎教頭

1. 開会あいさつ

《中島会長》

お暑い中、集まっていたりありがとうございます。今年度2回目の学校運営協議会となる。子どもたちのため、孫のためと思い、彼ら目線の、いろいろなご意見をいただけたら嬉しい。本日は、どうぞよろしくお願ひします。

2. 学校経営中間報告について

※笠松学校長より説明

- 全校集会・児童集会を定期的に入れる方針で進めており、6・7月は気温が高かったため、冷房のきくオープンスペースを活用し実施。全校で「群読」の取り組みを始めた。
- 2学期の9月には、2年生の給食配膳をスタート。2年生なりの自立と協調を学べる。
- 1学期には、地域の方々や外部講師の方々のサポートにより、学年に応じた学習を実施でき、学びを深めることができた。
- 児童主体の活動を活発に行い、異学年交流を通して子どもたちの成長に繋げている。
- 「学校の先生が何をしているのか分からぬ。」という保護者からのご意見や、「地域の方からとの交流だけでなく、学校からも発信できたらいい。」という前校長の想いも受け継ぎ、子どもたちだけでなく、先生方や学校の情報も学校だよりなどで発信している。
- 2学期は、「協力」「助け合い」を大きなテーマとしている。個人的としては、自分自身の「できないこと」「分からぬこと」「苦手なこと」から逃げないでという話をしており、子どもたちのメタ認知能力を付けていくようにしたい。
- 先生方のレベルUPを図るため、全教職員が要請訪問（研修授業）を実施。
- 来月には運動会も控えているので、学校運営協議会の皆さんにも参加いただき、子どもたちの頑張っている姿を見ていただきたい。

【質疑応答】

- 鹿西小学校には、「1日生きることは1歩進むことでありたい。」という大看板があるが、それに触れていないのはなぜか？
⇒4月の全校集会の時には、「磨き上げる」という部分で、その話をしている。
⇒「磨き上げる」部分で、「できないこと」「分からぬこと」「苦手なこと」を克服するとはどういうこと？と聞かれたときに、「1日生きることは1歩進むこと」というところに結び付けられれば、具体的で分かりやすいのではないかと思う。
⇒ごもっともだと思う。どんな小さなことでも良いから、1日に何か1つできるようになろうという話はしている。

～ 授業参観 ～

3. 協議

- ①コミュニティ・スクールサポート実績報告～寺西主査より、資料を基に説明～
※意見等なし。

- ②通学路の安全確保について～笠松校長より説明～

学校前のスクールゾーン設置について、町長と意見交換。町長、教育長、学校教育課長、生涯学習課長などに参加いただき、危険箇所やスクールゾーンの周知不足等について報告。改めて要望を出した次第。次年度、何らかのかたちで対応していただけるとのお話を頂いている。

【意見等】

- 学校の要望事項として、踏切内の段差などが挙がっているが、どこの場所なのか、何が解決したのか、細かいところの情報共有も学校運営協議会内で情報共有した方が良い。

⇒要望を出しているが、JRの敷地内なので、町では対応できないとの返答だった。

※西崎教頭より委員の皆さんへ資料提供。

- 通学路安全推進協議会からの回答の中には？（クエスチョン）が付くものもあるので、皆さんで協力しながら対策に繋げられたらしい。

⇒近江クリーニング付近の踏切内の白線が薄くなっている件については、宮田委員にて県土木の方に掛け合ってくださる。

③防災について

6/11（水）の防災講座について、宮田委員・四伊委員より報告。15時から1時間ほど、上区防災士会にて防災講座を実施。6人の防災士と、児童館を利用している25人前後の子どもたちが参加。地震に関する話は避け、全般的な防災についての映像を流しながらの講話やクイズ、新聞紙でのスリッパ作りや備蓄パンの紹介などを企画したが、実施できて良かったと思っている。こういう活動を新聞などに掲載してもらったり、いろいろなところへ発信していくことも大事だと感じている。

【意見等】

- 新聞紙でスリッパを作る作業など、知識として知っているか知っていないか、大きく違う。学校でも防災教育について、企画できればと考えている。

⇒町行政などにも協力してもらい、備蓄品を活用して、子どもたちと何か組み立てたりできたらいいのではないか。

⇒今年度実施というのは難しいかもしれないが、子どもたちだけでなく、地域の方にも声をかけて、防災について学べる機会を設けたい。お金をかけずに、身の回りにあるもので人を運ぶ担架を作るなどの体験を通じ、知識や考える力を身に付けてほしいと考えている。

- 2月にPTAの事業で、6年生に防災教育に取り組む予定。

⇒防災士の皆さんにご協力いただけたら良いのではないかと考えている。

⇒学校で概要を固めて、相談・申請という流れに持っていく。

- 3年生の学習では、鹿西消防団の方にも協力いただく予定。

4. 閉会あいさつ

《大森副会長あいさつ》

ご苦労様でした。委員の皆様からいろいろな発言があり、とても良い協議会になったのではないか。次回の学校運営協議会も含めて、学校に提案していけたらと思う。今後ともよろしくお願いします。